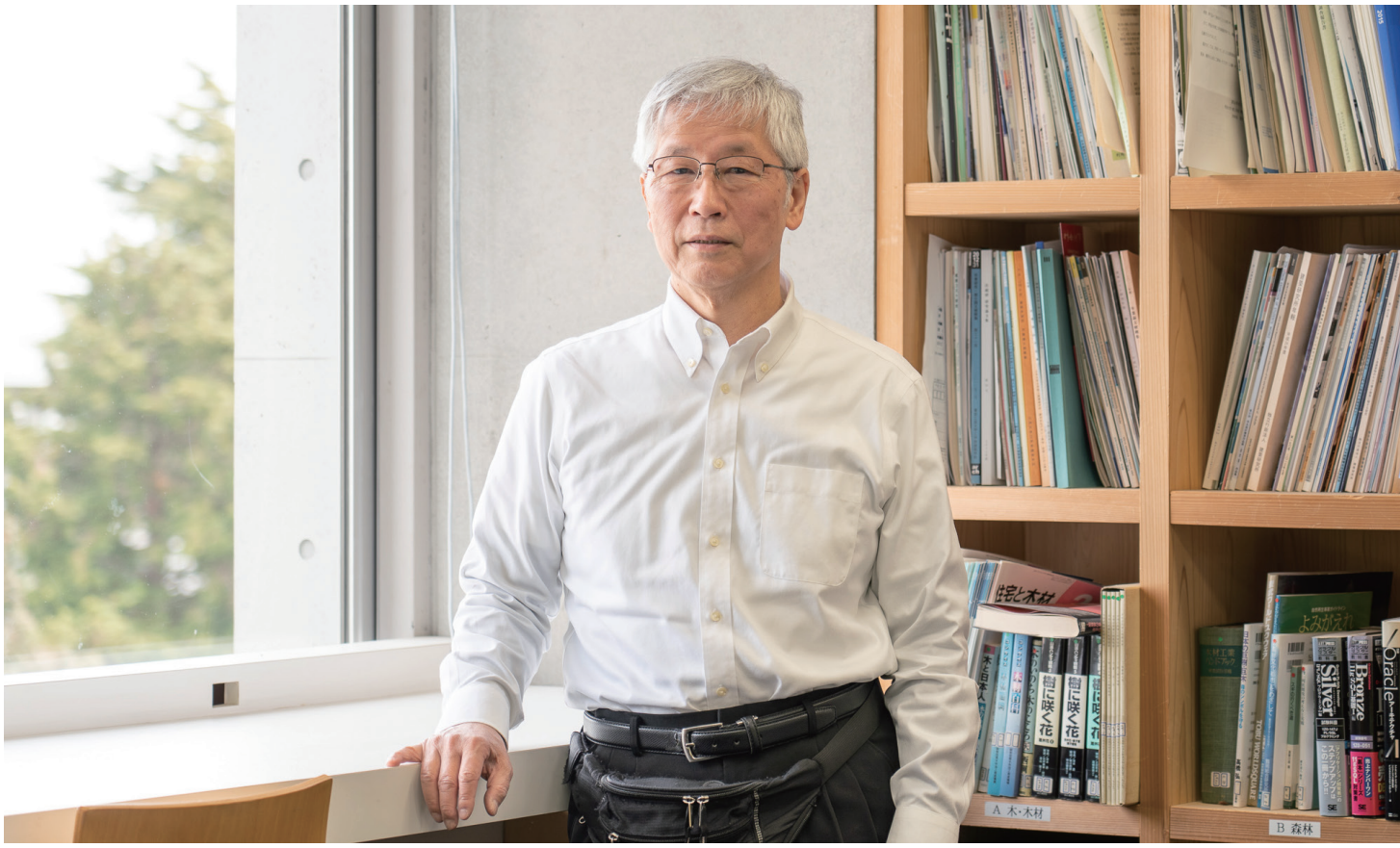
IZUMIKAI

ALUMNI ASSOCIATION NEWSLETTER

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE

TOYO UNIVERSITY

2022/No.37



退職のご挨拶　建築学科教授　秋山 哲一 TETSUICHI AKIYAMA

「退任教員のあいさつ」として泉会報への原稿依頼を受けて、何を書いたらよいのか迷っていましたが・・・

私と非常勤講師の宇治康直さん、そして設計支援員の今井浩太朗さんはじめ歴代の設計支援員の方と一緒に運営してきた建築プロジェクトマネジメント演習を紹介することにします。

この演習は３年生の秋学期、金曜日の４～5時限に開講していました。生産マネジメント系のプレゼミ生が主な受講生でしたが、構造材料系、まちづくり系、環境設備系の学生も何人か参加してくれました。

演習の内容は、毎年、年度末に開催される設計製図会議（常勤＋非常勤教員）で紹介していますが、意匠系の非常勤講師の方からは「面白そうなので受講してみたい」という話も出たりしました。担当教員側としては、ぜひ、意匠系の学生にも聞いてもらいたいと思っていましたが、それは果たせていません。一時期、心ある意匠系の大学院生が参加してくれた課題もありました。演習の内容をいくつか取り上げて具体的に紹介すると以下のようになります。

1）デベロッパーの立場にたった住宅開発の投資分析

３年生春学期まで必修の設計製図の課題では、プロジェクトの工事費用のことは考えてこなかったので、自らの設計した建築のコストを導き出す課題です。まず、自分の設計した集合住宅課題の提出物をもとに建築費用概算システムであるJBCIを活用して建築工事費を把握し、さらに土地代を調べ、一般管理費を加算して販売価格を算出します。さらに、それを全額ローンで返済する場合の月額の返済額を算出します。一般的に学生の作品は高級住宅地で、かつ共用部分・専有部分ともにリッチな空間構成のために結果として「億ション」になっており、購入層が高収入層であることを実感することになります。ただし近年は３年生前半までの設計課題で純粋な集合住宅課題がなくなってきたようで、教員側が準備した集合住宅の設計図をもとに計算することになり、学生にとっては現実味の薄い取り組みになっています。

2）建設会社の立場の入札戦略・入札ゲーム

施工会社の経営者の立場にたって、会社運営の難しさを実感してもらうもので、学生の人気が最も高 い課題です。受講生2人1組で建設会社を設立します。参加会社数は例年 10 ～ 15 社くらいになります。発注者（教員）から年間 30 件程度の建設工事が公告される中で、競争入札で受注していくという入札ゲームです。ゲームは、施工会社ごとの受注競争だから高い入札価格を提示すると受注できない、低い入札価格だと受注できても赤字になる、受注ができないと固定経費が掛かりこの場合も赤字になる設定になっています。つまり、受注戦略をどのように考えるかがみそになっています。3 年間程度の繰り返しゲームなので、前年度の結果を踏まえて、受注戦略を変えることも重要です。また、年度ごとの公告事案数を発注側（教員）でわざと変動させるので、施工会社の学生は、工事の多い好況時と工事の少ない不況時の入札戦略の違いを体験することになります。また、通常のファーストプライス・オークション（最低価格応札者が落札）の場合のほか、セカンドプライス・オークションも取り入れたりしました。受注産業としての建設業の特徴を実感することになります。

3）足場仮設計画、総合仮設計画

建築プロジェクトが完成したらなくなってしまうものに仮設があります。建設現場で何となく見かけている足場にも計画があることを理解してもらうために、2 年生の前半の設計製図で取り上げている戸建て住宅課題と同じ敷地に教員側で建設予定の戸建て住宅の配置図・平面図・立面図を用意し、その総合仮設計画や仮設足場の平面図・立面図を考えてもらう課題になります。この課題では、住宅を設計するために行う敷地調査と、住宅を建てるための仮設計画を行うための敷地調査の違いを認識してもらうねらいがあります。また、いわゆる基本設計・実施設計が終わった後の施工プロセスの仮設足場にも設計行為があり、そのための平面図や立面図作成という演習を通じてプランニングマインドが必要であることを理解してもらいたいという思いがあります。仮設計画の立案には、建築生産プロセスの合理性の考え方だけではなく、労働安全衛生法に基づいた労働安全規則による設計ルールがあることも学びます。そうするとこれまで何となく見過ごしていた建設現場を興味をもって見ることができるようになるのではないか、と期待しています。この課題では、仮設足場のリース業者であるトキワや積水ハウスの施工を担当している積和建設東京の方々の協力をいただきました。

4）マンションの長期修繕計画

この課題ではマンションの維持に何が必要かを長期修繕計画の立案を通じて考えてもらうことになります。マンション改修のコンサルタントである田村哲夫さんの協力をいただいて、実際のマンションの維持に必要な修繕積立金のシミュレーションを体験する演習課題です。まずは、「よいマンションとは」という問いかけから、マンションの長期にわたる機能や性能の維持管理の重要性を理解したうえで、築後 30 年を経過したマンションにおいて、3 回目の大規模修繕工事を前にして修繕積立額の不足が見込まれる長期修繕計画の状況を提示します。学生は、いかにして、例えば、何年後からどの程度の修繕積立金の増額が必要か、そのための合意形成は得られそうかどうか、などを考えてもらう演習になっています。消費税の変化や駐車場収入の減少などの変動要素も考慮する必要があります。

5）プロパティマネジメントの実際

さて、この演習は比較的新築プロジェクトをベースに課題設定をおこなっていますが、建築ストックの価値向上のための課題にも取り組んでいます。建築プロジェクトマネジメントと同じ表記「建築PM」となりますが、プロパティマネジメントについて取り上げています。

オフィスビルの場合、テナントという顧客の満足度を高めることが建築の価値を向上させること＝プロパティマネジメントである、と考えることになります。一般に言われている不動産価格の上昇のみを目指すものではなく、身近なテナント（利用者）満足度を高めるところに目標があることを学生とともに考える演習になっています。したがって、建築的な改善だけではなく、身近なテナントサービスを提案することから考えることになります。

最近では「エリアマネジメント」の考え方を取り入れて、中央区の日本橋浜町の街のいくつかの空き家や空き地を対象にしたり、池袋のサンシャインシティの屋上空間を対象にして、特にお金をかけないソフトな提案を取りまとめて、実際その建物や地域のかかわっている実務者に評価やコメントをしていただく形で取り組みました。

対象地域の設定や提案評価については建築学科 OB で牛見研出身の村田理さん、下田元さんほか、高木陽平さんや高野喜一さんなどに手弁当でご協力をいただきました。などなど、解説をしていくときりがありません。

ここに紹介した演習課題は、いずれも実務の方とのお付き合いの中で教育に取り入れたほうが良いのではないか気づいたものです。紹介できなかった課題を含めて実務家の方々に特別講義の形で協力していただいたことにより演習として実施できてきたもので、受講した学生からの評価も高くなっています。

協力をいただいた方々には深く感謝したいと思います。大学教育を通じて、在学生と実務家としての卒業生とのつながりが深まっていくことを期待したいと思います。

IZUMIKAI

ALUMNI ASSOCIATION NEWSLETTER / DEPARTMENT OF ARCHITECTURE
TOYO UNIVERSITY / 2022 / No.37

前略、会員の皆様におかれましては、いつも活動にご協力いただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響のため、原稿作成時に各種行事の日程が定まらない状況にあります。今後の予定はホームページにてご案内させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

02-03 退任教員挨拶
04 泉会役員挨拶
05 新任教員挨拶
06 学生便り
07 卒業論文 / 卒業設計　学科賞・泉会賞
08-09 連続講演会・支部便り
10-11 同窓便り
12 活動報告・活動計画
13 役員組織図
14-15 広告

泉会役員挨拶

堀口 芳隆
YOSHITAKA HORIGUCHI

18期
株式会社 交建設計

昨年度より第20代泉会会長を務めさせていただいております18期の堀口です。泉会会員の皆様には、日頃より会の運営にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。一昨年からの新型コロナ拡大に伴い、会の運営も滞り、昨年は会報の発行も断念。皆様へのご挨拶も遅れましたことをお詫び申し上げます。

この2年間は、対面での活動は制限され、泉会の活動も休止を余儀なくされてまいりました。幹事会、総会の開催も控え、昨年度はメールでの幹事会をお願い致しました。皆様にはご不便をおかけしております。在校生への支援活動も、大学への入構が制限され、オンラインでの茶話会や就職ガイダンスへの参加を除き、休止せざるを得ない状況です。いまだ予断の許されない状況が続いておりますが、幹事会の開催等会の活動が少しでも再開できればと願っております。

この間、テレワークの社会的普及、学生の間ではオンラインでの授業が定着しつつあると聞いております。今年の新入生は、高校2年生から3年目の制限された学生生活です。我々を取り巻く環境が大きく変化しつつあり、個々が孤立化して行く中で、同窓生相互を繋ぐ役割を担う泉会の存在が重要であると改めて感じております。大学からも会報等の発送の HP への切り替え要請をお受けしております。同窓生同志をつなぐツールとしての HP の管理・運営に注力する年とも考えております。今後とも会員皆様のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

今井 浩太朗
KOTARO IMAI

48期

このたび財務を務めさせていただくことになりました 48 期卒業生の今井です。卒業後に組織設計事務所にて経験を積んだ後、ご縁もあり2020 年度より設計アシスタントとして東洋大学に関わらせて頂いております。泉会には学生時代より就職活動や建築見学などでお世話になったことを覚えています。若輩者ではございますが、在校生・卒業生にとって友好な関係をつくれるよう尽力する所存です。ご指導ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新任教員挨拶

田澤 周平
SYUHEI TAZAWA

准教授

今年度より准教授に着任いたしました田澤周平と申します。青森県弘前市の出身です。博士課程では不動産鑑定評価法（DCF法）を用いた既存建築ストックの価値評価の研究を行いました。その後、株式会社竹中工務店技術研究所で約10年「建設ロボットの研究」「BIMを用いた施工シミュレーションの研究」「英米の建築社会システムに関する国際比較研究」などを行いました。ジョブローテーションで約2年間、2万3千㎡のオフィスビルの杭～躯体～内装～外構工事の施工管理も行いました。2018年からは世界最大の建設系CADベンダーであるオートデスク株式会社でBIM（≒3DCAD）を用いた業務改善のためのコンサルタントをハウスメーカーやゼネコンを対象に行ってきました。これまでの経験と人脈を活かしながら「デジタル」「グローバル」「現場」の3つをキーワードに研究教育を行いたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

高岩 裕也
YUYA TAKAIWA

専任講師

2020年度より専任講師に着任した高岩裕也と申します。私の専門は「木造建築学」で、歴史的建築物が持つ歴史的・文化的価値を後世により良い形で継承していけるように日々、研究活動しています。目的を達成するために、自身の専門領域の殻に閉じこもらず、異分野の領域に挑戦を続けています。本学着任前は、他の工学分野では幅広く活用されている、軽くて高強度な炭素繊維複合材料に着目し、耐震補強部材を開発する研究をおこなうために、航空宇宙分野・機械自動車分野などの専門家が集う研究所の研究員として活動していました。本学着任後の現在は、ツバメの巣の構造から学んで伝統的な土塗り壁を再評価する研究を東洋大学重点研究のメンバーとしておこなったりしています。
因みに私は東洋大学で博士号を取得しています。これからは技術者の教育という観点にも力を入れ、母校にこれまで蓄積してきたものを還元していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

田中 比呂夢
HIROMU TANAKA

設計アシスタント

2021年度より設計アシスタントに着任いたしました田中 比呂夢（たなか ひろむ）と申します。
東京理科大学（工学部第二部）にて建築を学び、同大学院にて建築と都市の関係性についてスケートボートという特定のアクティビティを切り口に研究しておりました。その後、株式会社オンデザインパートナーズにて、店舗やオフィス内装、リノベーションなどの設計を行いつつ（2020年退職）、2018年度からはmatthew（マシュー）というユニットでデザイン活動を行っております。私は埼玉県新座市の出身で、今は朝霞市を拠点に活動しています。そのため、ずっと身近な存在であった東洋大学に、今回このような形で関わることができ、非常に嬉しく思うとともに、身の引き締まる思いがいたします。私の役割は主に設計関連の授業サポートになりますが、学生が建築を学びやすい環境や雰囲気をつくれるよう努めてまいりますので、ご指導ご協力の程、よろしくお願いいたします。

学生便り

大八木 裕貴
YUKI OYAGI

東洋大学建築学科
３年

つながりと学び

入学時、世界中で新型コロナウイルスが流行しており、例年とは違う不自由な学生生活を送ることを余儀なくされた。最初の一年はほとんどの授業を非対面で行いキャンパスに通う機会が少なく、直接的な人との関わりを抑制され、一人の時間が増えた。もちろん一人でも行える活動や得られる知識もある。読書をし、実際の建築や学生の作品を見ることで自分の考えを巡らせ、そこから得られる気付きも必要である。しかし、どこか物足りなさを感じずにはいられないのも事実であり、人とのつながりがどれほど学生生活を有意義なものにしてくれるかを知ることができた。先輩方の卒業設計の手伝いや設計事務所へのインターンシップなどのお誘いも、小さなつながりが生んでくれた貴重な機会であり、間違いなく大きな学びとなり、より多くの人と関わることができた。また人とつながることで自分と同じ意見を持つ人や、逆に全く異なる意見を持つ人と関わることができ、物事を様々な視点から捉えられるようになる。建築とはスタディの繰り返しによって、答えのない結果へと一歩一歩進んでいくことと考えているが、同じ考えにとらわれず、多角的に物事を捉えることでのみ突破口が開ける場合もあることから、他者の意見が必要不可欠だ。私は決して人付き合いが得意とは言えないが、一歩を踏み出すことで新しい人との出会いや挑戦へとつなげ、自分が表現したい結果を模索し続けながら、これからも建築を追求していく。

佐藤 優花
YUUKA SATO

東洋大学大学院
建築学専攻１年

建築人生 ～プロローグ～

私が建築学に志したのは今から 15 年ほど前、小学 1 年生の頃である。当時流行っていたテレビ番組に触発されたことと、両親に自分の部屋を増築してもらったことがきっかけだ。一生ものの買い物に立ち会える建築家という職業は、なんて素敵なのだろう。しかし、私は、高校 2 年生まで、意図して分野を絞らず学んだ。大学受験では数学が壁となって立ちはだかったが、この東洋大学の建築学科に入学できた。大学の 2 年生になると、設計の授業が始まった。分野を絞ってこなかったことが功を奏したのか、様々な角度から提案を行うことができていたと思う。意匠に精通した講師・教授陣と交流を図り、いかに自分の経験を活かしていくかについて考えた。しかし、3 年生では流行り病によってその教授陣との交流は失われた。下の学年はもっと不自由を感じたことだろう。学友との交流も途絶え、自分と向き合うことを余儀なくされた。大学はハイブリッド授業を取り入れており、わたしは孤独に設計へと取り組んだ。そうした中で、私は自分の手数の少なさを思い知り、いよいよ建築の専門知識の乏しさに気付いたのであった。4 年生になってキャンパスライフは改善したものの、就職活動に勤しむ学友が目立ち焦りつつも教員の熱心な指導を受けながら卒業設計を行い、やっと建築の “ けの字 ” がわかってきたのではないか。
先日、指導教員の設計した住宅を見学した。そこには私の幼いころからの夢が詰まっていた。このような出会いと、学びの機会に感謝しつつ、真摯に建築人生を歩んでいきたい。

長岡 佑佳
YUKA NAGAOKA

東洋大学大学院
建築学専攻２年

一旦吸収し自分の幅を広げる

修士 1 年の秋学期に設計演習の授業があった。その設計課題では、敷地が与えられた他に、自分の家を調査して設計方法に繋げるといった内容だった。私が普段から行なっている設計方法は、敷地を調査して特徴を拾って設計に落とし込むという流れだった為、この課題の方法を飲み込み、実施してみることが難しかった。いざ、課題の通りに進めてみると、自分に馴染みのない方法に手が止まり、不安が膨らみはじめた。何週間しても前に進んでいないのが自分でも感じた。しかし、毎週の様に沢山のアドバイスを下さる先生方に食らいつき、少しずつ手を動かしてみることにした。そうすると、最後には自分でも納得ができる提案と普段とは異なる様な新しい設計の提案へと進めることができた。この設計演習では、新しい設計方法を学んだことによって、自分の建築設計の幅を広げることができたと感じた。さらに、この授業を通して、最初から自分に合わないスタイルと言って取り入れないのではなく、一旦取り入れて実施してみることが大切であると感じた。そして、その後に自分が必要な方法だけを抑え、自分の武器にすることが重要だと思った。これから約 1 年間の修士設計を進める際には、色んな事例や先生、仲間からのアドバイスを一旦吸収し、手を動かしてみて、その中で自分に必要な物を抑えることで自分なりの作品を創り上げていきたい。

卒業論文　学科賞・泉会賞

校友会学生研究奨励賞	出原 麻莉乃	田口研究室	
卒業論文賞	箕畑 美砂	イム研究室	省エネルギーを目的とした講義室におけるパッケージエアコンの吹出し気流のショートサーキット改善に関する研究
建築学科同窓会泉会賞優秀賞	川上 翔太	香取研究室	コンクリートのひび割れ幅と深さに関する研究
建築学科同窓会泉会賞奨励賞	小寺 佑宜	高岩研究室	木造建築物の柱のヤング係数非破壊評価法の提案
	高橋 郁哉	秋山研究室	超高層マンションにおける排水管改修工事に関する研究 －設計･施工プロセスの特徴と課題－
卒業論文賞奨励賞	大和 光 加藤 凱斗	浦江研究室	都市の木材利用に関する研究
	許諾 孟威宇	李研究室	載荷方向の違いが田の字断面CFT柱の曲げ挙動に及ぼす影響に関する解析的研究
	大艸 光希	岡本研究室	高齢者の居場所としてのゲームセンター
	土井富 尚紀	篠崎研究室	戸建て住宅における用途複合の傾向
	石井 伽奈	大澤研究室	利根川流域における水害対策のための建築規制の実態
	岩沢 一真	田口研究室	山上のコワーキングスペースにおけるクリエイティブコミュニティ形成 ～神戸市ROKKONOMADを対象に～

卒業設計　学科賞・泉会賞

卒業設計金賞	佐藤 優花	伊藤研究室	体感・時間・建築
卒業設計銀賞	川島 一純	伊藤研究室	街の骨格に織りなす
	平田 凌雅	伊藤研究室	四面看板建築
卒業設計銅賞	谷貝 裕哉	伊藤研究室	現代における子供の遊び空間
	福地 至恩	工藤研究室	新しい地形の風景
泉会賞	柿沼 葉里	田口研究室	ヤドリギ～サービスラーニングからはじまる大学キャンパス解放～
設計製図賞	福地 至恩	工藤研究室	

2021年度東洋大学連続公開講演会

■1971年富山県生まれ
■1994年横浜国立大学建築学科卒業
■1999年バージニア工科大学大学院修了
■1994～1995年槇総合計画事務所勤務
■1999～2001年ラファエル・ヴィニオリ建築事務所勤務
■2001年から現在までエストニアに在住
■現在、タリン応用科学大学建築学部教授

林 知充
TOMOMI HAYASHI

■1980年千葉県生まれ
■2003年東京大学工学部建築学科卒業
■2005年同大学大学院修士課程修了
■2005～2009年安藤忠雄建築研究所
■2011～2015年Sanuki+Nishizawa architects共同主宰

西澤 俊理
SYUNRI NISHIZAWA

■1965年東京都生まれ
■1987年早稲田大学理工学部建築学科卒業
■1988年～デルフト工科大学建築学科留学
■1990年早稲田大学大学院修士課程終了後、ユニテ建築計画
■1995年Architectuurbureau Van Berkel & Bos（現UN Studio）
■1997年moriko kira archi-tect設立。オランダ在住。

吉良 森子
MORIKO KIRA

昨年度は中止となっていた東洋大学理工学部建築学科主催の連続講演会が2021年度は開催することができました。本年度は「Relativity of the World」というテーマを設けて、世界各地の第一線で活躍する日本建築家の林知充氏（エストニア）、西澤俊理氏（ベトナム）、吉良森氏（オランダ）の3名にご講演いただきました。コロナウィルスの感染拡大もあり、本年度はオンライン形式での実施とし、オンラインツールを使うことで国境・時間を越えた関係性で議論を行いました。世界が様々な技術でつながりを強めていくなかで、一つの価値観や論理を共有することの不可能性が明らかになってきました。今回登壇いただいた3名からは、日本を原点に据えながら、それぞれの場所が持つ特性や類似性や相対的な関係性などを中心に、設計での気づきや手がかりについてお話しいただきました。建築の専門性と広域的な視野をもつことの大切さに触れ、オンライン開催ではありましたが、非常に有意義なものになりました。

支部便り「静泉会」静岡県支部

島村 芳三
YOSHIZOU SHIMAMURA

静泉会 会長
14期
太田研究室

「静泉会」(泉会静岡県支部名称)の活動報告です。活動といってもこのような状況下では静泉会の活動は全くしていないのが現状です。ただ、わが大学全体の卒業生の会である静岡県中部地区の校友会の活動に静泉会から私を含めて昨年末に3人が参加をしました。静岡の校友会メンバーのほぼ全員は我々静泉会のメンバーを除くと文科系卒業生で構成されていて、出席率も良くなく、我々静泉会に頼ってくるようになっています。

現在の静岡県の校友会は伝統にのっとって若い卒業生に校友会を繋いでいくことだけにエネルギーを費やしていますが、若い世代の参加は無くお歳をとられた方が多いので、結果として若いメンバーもいる静泉会に校友会が頼ってくるのです。つまり、校友会は繋ぐという義務的な気持ちだけでそれ自体を運営しているように感じてしまいますが、泉会は魅力が少なからずあるために、工学部の中でも繋がりが強く、校友会でも泉会の存在を認めていらっしゃるとお聞きしていて、ここ静岡でも同じようなことを感じています。

単純にいって泉会に参加するメリットはあるが、校友会で参加するメリットは感じないというところが若い世代になるとより強く、他の大学でも同じような現象があると聞いています。ただ、私立大学で有名なK大学のM会ではそのようなことがなく、むしろそれを使って自分の仕事など就職活動やスキルアップに活かしているようです。それが良いのか悪いのかのコメントは控えますが、今のK大学の若い世代になると、それをエサに自分たちの進路決定をさせられることに嫌気がしているK大学の学生もいるという話も伺っています。つまり、そのK大学のM会卒業生のあいだでは会の節度感が無く、やりすぎ感が出てしまっているようです。

静泉会ではそれらの話をしました。卒業生のリクルートのためだけに校友会があるのではなく、もっと前向きで魅力ある校友会の存在が無ければ同じような現象がおきていくことは皆さんも感じていらっしゃること思いますので、泉会も含め校友会の将来を考えていく時期が来ているのだと思われます。

我々は単純に今までの伝統を単に繋いでいくのではなく、どの様にしたらこれからの卒業生に対して魅力あるものにさせることができて、校友会・泉会自体を存続させられるのかを根本的に皆さんで話し合う時期に来ているのだと感じています。

支部便り「神泉会」神奈川県支部

河野 洋
HIROSHI KONO
3期

原崎 久人
HISATO HARASAKI
10期

2020年度は、横浜新市庁舎が、桜木町駅近くに、2020年1月31日に竣工し、6月29日に開庁しました。関連の展覧会の開催があり、第14回ヨコハマタウンウォチング「横浜市庁舎の変遷」として、2020年11月28日(土)に旧市庁舎の設計者「村野藤吾展」と新市庁舎の設計者「槙文彦展」の会場を見学しました。

「村野藤吾展」では、旧市庁舎のエピソードや当時の設計図、スケッチ等が展示されており、「槙文彦展」では、代官山ヒルサイドや、アメリカニューヨークの9,11の後建てられた新ワールド・トレードセンター(新WTS)の一つの設計や、これまでの作品模型等が展示されていました。(参加者7名)

2021年度の「みなとみらい地区の散策シリーズ〈1〉」として、2021年10月9日(土)に約2時間、散策しました。1938年に開発事業が始まって以来30数年、町の変貌ぶりに驚き、まだまだ発展していくと思います。

神奈川県支部校友会として、2022年3月19日(土)に赤羽台キャンパスを訪ねました。

JR赤羽駅近くの公団団地を買収して、すでに開設済みの学部と合わせ3学部になる予定新キャンパス計画が進行しています。校舎、図書館、体育館の延べ4万㎡以上の規模を建築中で、設計は隈研吾氏で竣工の暁には話題になることと思います。

朝霞から移転したライフデザイン学部には建築系の人間環境デザイン学科があり設備、環境は我々のころとは比較になりません。他の学科も同様に驚くばかりでした。

3月30日(水)には、川越キャンパスを訪ねました。数年前に訪れた時も様変わりに驚きましたが、その後も変化しているようです。1期飯吉先輩設計の、屋内陸上競技練習場他見学してきました。校友会支部会報記事に掲載予定で駅伝の酒井監督のインタビューに同席し、コロナ禍の中での学生たちの自律したこの数年の日々の生活を紹介され感動しました。白山の学部の学生さんが来年卒業だけれど、「2年間はリモート学習等で白山には行っていない」という言葉が印象的でした。

その後、学部の同窓会室も訪問し、校友会の支部活動にもより一層協力してもらえそうだったので、今後神泉会としても学部の学生さんとの連携を図るべく活動をすすめていこうと考えているところです。

次回のヨコハマタウンウォッチングは10月1日(土)の予定です。

今後のウォッチングにつき企画案等の提案についても何かありましたら、下記まで連絡ください。

連絡先は、下記まで

■神泉会事務局
・AXIS PLANNING　原崎　久人
〒231-0048
横浜市中区蓬莱町3-104-4-803
TEL- 050-3707-2620
FAX- 045-262-8761

同窓便り

渡邉 雅大
YUDAI WATANABE

54期
伊藤研究室

つくることと、座標。
- 渡邉家住宅に寄せて -

私の生まれた家は、鋳型職人である祖父が 1960 年に建てた古くさい小さな家だった。ちょうど小津安二郎のおはよう (※ 1) という映画に出てくる住宅を、敷地の形にアジャストさせた小さな宇宙船のようなもので、たまたまこの地に不時着したかのような様相だ。別に彼を好きではなかったと思うし、建築学科に進学した理由とも脈絡はない。むしろ、彼の中廊下の暗さが私の今の人間性に影響を与えていると考えると、少し腹立たしい気もする (もちろんそんなのは冗談だけれど)。修士設計 (※ 2) では、この家が生物のように世界の変化にもまれ続けるというパラレルワールドを描いた小説 (内容は非常に建築的かつ研究的) を執筆した。過去のことなんて都合よく書き換えればいいと思った。そして彼の過去をどうにか肯定し、建築・都市がもつ在来知を、単なる建築表現上での差異を引き起こすためだけのレトリックでは終わらない、長い飛距離を伴う射程で、未来への診断につなげられないかと意気奮闘し、学生生活を終えた。

祖父はその 2 か月後に他界した。彼は最期の 2 年程は私の顔も覚えておらず、この研究と私のあの家に対する興味関心を知ることはなかった。家は相続の問題で壊すか残すかの天秤にかけられることになった。建築の資産価値はもちろんゼロ、無情にも土地の値段のみが査定表の行列の中で浮き出ていた。この家が世界から消滅することはあってはならないし、それを脅かす行為に加担するような人間を絶対に許すことはできない。ずっとこのまま存在してほしいと願うようになった。同時に、それはとても恐ろしいことだと感じた。近代以降の建築は、建築に郷愁さを帯びさせることで、落としどころを作り、計画のパラドクスを飲み込んできた側面が少なからずあるからだ。

私があの家を買うという選択肢も当然存在していたが、東京に一人暮らしし、多額の奨学金返済を抱えた新卒一年目の手取りで払うのは少々難しい額だった。一方で金はないが時間はあった。有限の時間の中で、学生生活 6 年目で書いた小説をさらに厚く上書きしたものを片手に、様々な人に会い行き、議論を重ね、刺激的な時間を獲た。人の縁に恵まれていることに心から感謝した。

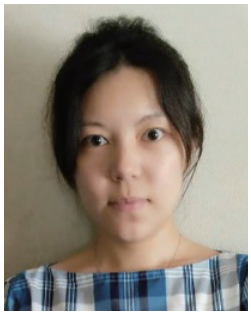
今私が生きていて引き寄せる、あらゆる知識や経験や感覚は、あの家を中心とした超複層的で立体的な座標軸の軌道を回っているような感覚がある。これはあの家の改修行為を通して建築家としての立ち位置を具体化しようという試みを、意味しない。とにかくつくらなければいけないと感じている。潜在的に感知している何かをその始原を忘れるくらいに少しでも蓋然性の高い体系にまとめ、別の何かにつなげていきたい。

多くの東洋大学建築学科 OB･在学生･恩師の方々が目を通されるであろうこの場において、現在の具体的なプロジェクトや建築設計・研究活動を基にした自身の哲学を表明できず、ほとんどの文章を過去形で結ばねばならないことが、本当に悔しい。座標は見つけた。信仰してはいない。あの家を信じるのではなく、あの家に囚われることから始まった己の時間を信じたい。そのために何ができるのか、今考えていることが一体何に繋がるのか、ゆっくり考えればいいじゃないか。

ところで、私の大好きな andymori(※ 3) というバンドの「夢見るバンドワゴン」という曲がある。物語は終わるけどそこから話は続いていくよということを伝えている。

※ 1) おはよう / 小津安二郎 (©1959 松竹株式会社)
※ 2) 動的な住宅 / 渡邉雅大 /2020 年度東洋大学大学院博士前期課程特定研究論文 (JIA 修士設計展最優秀賞受賞)
※ 3)andyomori/2007 年に結成されたロックバンド 。2014 年 10 月 15 日解散。バンド名はアンディ･ウォーホルと「メメント･モリ」を繋げた造語。

同窓便り



佐藤 恵
MEGUMI SATO

52期
2019年大学院卒業
香取研究室

私は今、中日本ハイウェイコンサルタントという会社で働いています。ハイウェイの名の通り、高速道路に関わる仕事です。

主な仕事内容は、高速道路上で工事を行うために規制を掛ける際、一般のお客様が安心・安全に利用できるように複数のカメラを設置します。その設置したカメラを24時間体制で監視し、渋滞や事故などが発生した際、速やかに管制に連絡しお客様に情報をお届けします。

また、規制現場内で工事が円滑に進むよう車両の出入りや誘導員の適切な配置などを考え、現場内で様子を見守ることもあります。

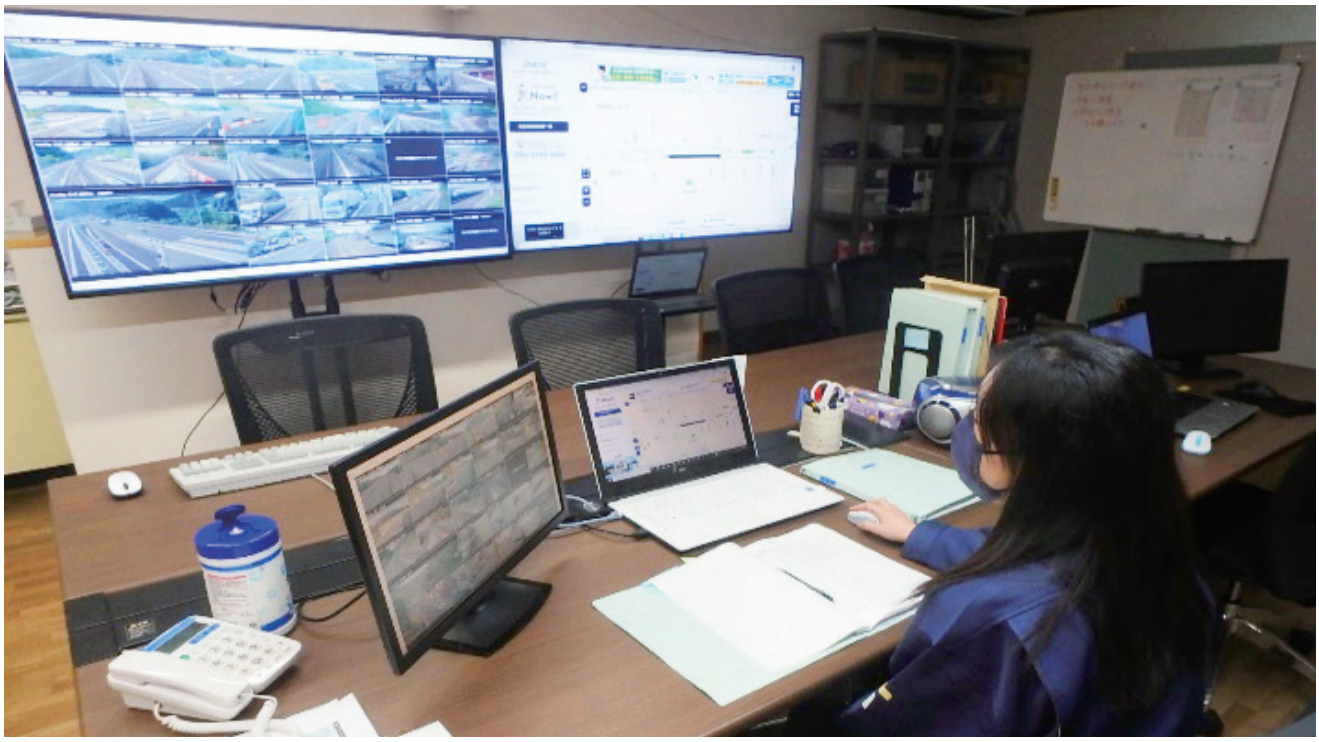
私は学生時代、香取研究室でコンクリートに関する研究をしていました。学生時代に学んだ事ややっていたことからはあまり関わりのない仕事で、いまだに戸惑うことが多い日々ですが、あまり知られていない珍しい業種だからこそのやりがいもあります。

規模の大きい工事になればなるほど、規制箇所も監視カメラの数も多くなります。そうなれば現場内の巡回やカメラで見るべき箇所、注視しておかなければならない場所も増えます。どこを見なくてはいけないか、どこでトラブルが発生しやすいか等の見極めは経験していくうちにわかっていくと先輩から言われました。

また、一現場が3ヶ月程度のスパンで動いていくため移動も多くなります。各現場や管轄等により、独自のルールもあるため、「その場その場で考えながら対応する」の繰り返しで、まだまだ学ぶことが多いです。

この仕事を始めて、私が楽しんでいることの一つが現場に出た際、誘導員をはじめ、様々な方とお話しできることです。職種的に女性が珍しいこともあるのか、誘導員の方々、現場の作業員の方々等多くの方に話しかけられます。特に誘導員の方々と関わることが多いので、よく現場巡回中に声を掛けられそんな話の中から学ぶことも多いです。様々な現場を経験しているからわかることや、最近誘導員になったばかりで、前の仕事は全く違う業種で働いていた方等、様々な人が集まるからこそ聞ける話もあります。

建築学科を卒業し、建物と関わりのない道に進む。人によっては建設業に全く関係ない業種についている人もいると思います。どのような職種に就くにしろ、自分の仕事に対して真摯に向き合える姿勢を大切にしたいものです。



写真は現場のカメラを本社の監視室にて監視している様子です。

活動報告・活動計画

2021年度年間活動報告（案）

月	理工学部（建築学科）「泉会」関連行事	泉会行事・会場・業務活動等
4	■新入生オリエンテーション ■入学式：４／６ ■１年生対象の茶話会	■新入生オリエンテーション会長祝辞：４／５（１３：００～）７２１教室 ■準会員費集金及び記念品（三角スケール）贈呈（役員・学内幹事） ■オンラインにて開催：４／２４（１３：００～）◇本部役員会
5		
6	■学祖祭：６／６	■第１回建設業界ガイダンス（協力：日建学院）：６／１９（土）オンライン ■本部役員会
7		
8	■夏休み ■オープンキャンパス：８／２０－２１	○幹事会（書面決議）：８／２７・書面決議依頼メール配信 ９／２４・幹事会終了メール配信 １１／６・結果報告メール配信 ◇本部役員会
9	■秋学期授業開始：９／１７ ■９月卒業式　■学位記授与式（９／１５）	■２級建築士講座（協力：日建学院） ■終身会費集金作業
10		
11	■こもれび祭：１０／３０－３１ ■２０２１年度ホームカミングデー in 川越（中止） ■冬休み	
12		■第２回建設業界ガイダンス（協力：日建学院）：１２／４（土）オンライン ■建設業界研究セミナー：１２／１８（土）参加企業４４社・オンライン ◇本部役員会
1	■授業再開	
2	■春休み	■卒計発表会・卒論発表会・泉会賞選考（準会員支援）◇本部役員会

2022年度年間活動計画（案）

4	■新入生オリエンテーション ■入学式：４／６	■新入生オリエンテーション会長祝辞：４／４（１５：００～）２１０６教室 ■準会員費集金及び記念品（三角スケール）贈呈（役員・学内幹事） ◇本部役員会
5	■１年生対象の茶話会	■オンラインにて　◇本部役員会
6	■学祖祭：６／６	■第１回建設業界ガイダンス（協力：日建学院）オンライン ○幹事会：６／１１（土）川越　◇本部役員会
7		
8	■夏休み：オープンキャンパス	
9	■９月卒業式　■学位記授与式：９／１７ ■秋学期授業開始：９／２３	■２級建築士講座（協力：日建学院） ■終身会費集金作業
10		
11	■こもれび祭 ■２０２２年度ホームカミングデー in 川越	■第２回建設業界ガイダンス（協力：日建学院） ◇本部役員会
12	■冬休み	
1	■授業再開	
2	■春休み	■卒計発表会・卒論発表会　■泉会賞選考（準会員支援）　◇本部役員会
3	■卒業式　■学位記授与式	■卒業式にて会長祝辞、記念品贈呈、泉会賞授与（準会員支援）、 準会員終身会費集金作業　◇本部役員会

役員組織図 2021,03,23

議案第３号＜泉会＞役員組織図

	役職	氏名	担当業務
[本部役員]	会長	堀口 芳隆(18)	総括
	副会長	茂呂 大輔(33)	広報企画
		木元 洋佑(42)	
	大学担当役員	高岩 裕也(49)	
	財務	吉野 広二(27)	財務
		今井 浩太朗(48)	総務
	事務局長	中村 純三(9)	

[会長]

堀口　芳隆(20)　交建設計
03-3553-9112

[顧問(歴代会長)]

飯吉　伸一(1, 2)　飯吉建築設計
03-5313-2244
長谷部　浩(3, 4)　雄設計
03-3987-8151
佐藤　博美(5, 6)　佐藤ＵＡ設計
0957-74-5116
松崎　吉夫(7, 8)　松崎吉夫建築研究所
03-5995-5777
松本　祐二(9)
03-3940-8027
鈴木　澄夫(10)
03-3647-5745
白旗　定幸(11)　マナ建築設計室
0422-28-7068
草野　律子(12)　草野建築設計事務所
049-227-8176
長峰　勝芳(13)　大谷工業
03-3494-3731
鶴田　謙一朗(14)　黒川建設㈱
04-7184-8586
細谷　功(15)　スタジオ-4設計
049-266-5036
中山 秀明(16)　中山秀明建築研究所
049-240-2677
寺山　誠(17)　島村工業
048-775-1419
星野　洋介(18)　交建設計
090-9106-4905
中路　孝子(19)　岩堀建設工業
049-225-5111

[支部担当]

勝瀬　義仁　タック
048-474-2727

[支部]

支部長　事務局

■北海道
本間　寿幸(15)　武内　一郎(5)
011-241-9538　011-513-0711

■新潟
田中　隆(6)　風間　秀和(31)
025-284-2266　025-284-2266

■茨城
柴田　弘道(1)　奈良　昌樹(32)
0292-21-8111　029-822-4377

■岡山
吉川　仁和(18)　石川　哲郎(16)
086-214-4111　086-284-6816

■福岡
古賀　英雄(3)　井出　昇(8)
092-662-2098　092-626-0737

■徳島
戸出　敏夫(12)　板原　智(19)
0883-22-2225　088-675-2252

■静岡
島村　芳三(14)　植田　竜司(27)
054-273-0713　054-221-3127

■神奈川
河野　洋(3)　原崎　久人(10)
045-251-3796　050-3723-2935

■群馬
空席　関口　敏之(30)
027-352-5168

■山梨
飯窪　功児(8)　三枝　信人(9)
055-283-1157　0553-47-1653

第20期(幹事会メンバー：委任可)

[幹事](*:非常勤講師)

1期　桑野　進　(桑野デザイン)　03-5936-8011

2期　田畑　貞和　(ジー・アイ建築検査機構)　03-3516-2418

3期　上川　勇治　(街並工学研究所)　0492-52-1661

4期　松村　丘　(日本施設管理)　03-5340-5580

6期　小野塚　勉　0480-33-5185

5期　岡崎　勇二　(岡崎工務店)　03-3982-2924
元持　秀人　(自営)　090-1771-0974

7期　坂巻　一男　(建物保全支援機構)　048-729-6970

8期　草野　律子　(草野建築設計)　049-227-8176

9期　中村　純三　(岩堀建設工業)　049-225-5111

10期　橋本　秀世　(橋本秀世建築研究所)　03-3993-2755
小川　任信　(小川任信建築設計)　090-3097-9027

11期　森田　和巳　(森田建築設計室)　049-282-2888

12期　中山　秀明　(中山秀明建築研究所)　049-240-2677

13期　橋本　雅夫　(プリンスホテル)　090-2563-9368

14期　星野　洋介　(交建設計)　090-9106-4905

15期　小岩井文夫　(エフピーエス・ミヤマ)　03-3639-7603

16期　中路　孝子　(岩堀建設工業)　049-225-5111

17期　松田　孝幸　(パルシップ)　03-3234-3303

18期　高杉　雄一　(高廣建設)　048-266-5618
堀口　芳隆　(交建設計)　03-3553-9112

19期　松岡　正樹　(自営・名古屋)　090-3452-6465

20期　寺井　明彦　(鈴木組)　03-3822-1785

21期　深川　繁久　(JALファシリティー)　03-3747-6435

22期　瀬沼　健二　(大成建設)　03-5625-0250

23期　市川　建治　(埼玉西部環境保全組合)　090-7823-0442

24期　増田　順久　(フジタ)　0429-93-3296

25期　田口　隆一　(ARU田口設計工房)　048-786-4284

26期　長谷部　勉*　(H.A.S.Market)　03-6801-8777

27期　吉野　広二　(吉野建築造形工房)　049-265-7061
斉藤　宏昭　(足利工業大学)　090-9347-0445

28期　桜井　一郎　(リブラン)　03-3972-0072
松岡　大介　(ポラス暮し科学研究所)　048-987-9111

29期　野村　哲也　(日本ランドデザイン)　03-3346-2233
池田　麗子　(川越市役所)　049-224-5961

30期　伊藤　良　(パンデミック)　03-5464-8930
田中　伸明*　(ATELIERN)　0279-75-7820

31期　深町　仁至　(志木市役所)　048-483-1039

32期　伊藤　麻理*　(UAO)　03-3498-3060
馬場　崇容　(日建ハウジングシステム)　03-3268-5862
須貝　重義*　(シグアーキデザイン)　03-6459-0108

33期　茂呂　大輔*　(スタジオコンポ建築デザイン事務所)　090-4075-7904

34期　管　学　(ソリトンシステムズ)　0242-73-2738
辰澤　茂和

35期　大矢　晋　(病院システム)　03-5396-3921

36期　神田　剛　(神田剛建築設計事務所)　03-3401-7721

37期　太田　森政　(長谷工アーベスト)　03-5440-5813

38期　大場　奈央　(日本総合研究所)　090-3809-6291
中村　友子　(自営)　090-9155-3184

39期　菅野　知速　(研究生)　090-7689-1174
那賀島大地　(さいたま市役所)　048-829-1111

40期　保里　賢治　(構造計画研究所)　090-5316-8965
森　智香子　(日構シーエスエス)　048-653-2048

41期　新井　真吾　(レオパレス21)　070-2198-4142

42期　寺内　央　(中島工務店)　090-4369-0028

43期　古川　明広　090-4747-6078
氏家麻里子　(教育施設研究所)　090-7236-1344

44期　吉野　大輔　(さいたま住宅検査センター)　048-621-5111
橋本　文　(大成建設)　080-5553-7529

45期　若山　範一　(ルドグラム)　090-7277-5470
滝島　信吾　(大和リース)　080-2023-1140

46期　大山　宗之　(国際航業)　080-6503-6026
柳佳央里青　080-1848-4513

47期　折田　現太　(飛島建設)　090-4951-8299
佐藤　豪太　049-239-1414

48期　加能　良祐　(大林組)　080-4291-5432
梓澤　亜美　(昭栄建設)　090-2540-9174

49期　高岩　裕也　(専任講師)　080-3129-6989
為貝　恵実　(岩堀建設工業)　049-225-5111

50期　安田　陽　(タトアーキテクツ)　080-1305-8898
篠田　将　(KAP)　080-1208-3794

51期　内海　友博　(設計領域)　090-2221-0305
土屋　柚貴　(SANAA)　080-5878-6806

52期　柳田　実粛　(サンエイコー東日本)　080-6647-3114
久保　翔平　(大和ハウス工業)　090-2239-5291

53期　鈴木　郁弥　(大学院2年)　090-8494-7413
原　彗矢　(ミサワホーム)　080-9389-3997

54期　渡邊　雅大　(大学院１年)
植竹　淳史　(大学院１年)

55期
56期
57期　(現役4年)
58期　(現役3年)
59期　(現役2年)
60期　(現役1年)

[監査]

内田　公夫(17期)　泉建築舎(090-9640-9128)
松田　孝幸(17期)　パルシップ(03-3234-3303)

[本部連絡先]

〒350-8585
埼玉県川越市鯨井2100
東洋大学理工学部建築学科「泉会」
049-239-1679(川越キャンパス同窓会室)

本連絡先は泉会活動以外には使用しません

[連絡方法と幹事の業務]

1. 幹事会及び支部交流会の連絡方法は原則として事務局よりメールまたはＦＡＸで連絡し、出欠の確認をする。
2. 本部役員は受持ちの各期幹事と相互に連絡をとる。
3. 各期の幹事は同期の卒業生への連絡を行う。
4. 各期の幹事は、同期の卒業生の住所等の把握、印刷物の発行の協力、会費の納入状況の把握と徴収の協力を行う。
5. 幹事は会報の"同窓生だより"執筆者を選考し原稿の依頼をする。

広 告

日建学院では、泉会ご協力の下
現役東洋大生から卒業生までこれからも全力で応援致します!

現役生へ朗報!!

建築士 学内講座

建築士法改正に合わせて、学内講座も大幅に拡充!!
「泉会」と「東洋大学 建築学科」が主催する
1級・2級建築士講座を、日建学院が特別学費で実施します。

東洋大生 3大特典

①資格講座　：建築士・宅建士など、学生割引きを適用!
②建築系書籍：建築設計資料・住宅建築 など、学生割引きを適用!
③その他　　：講演会・セミナーへの無料招待
学内催事での献本など

卒業生へ朗報!!

東洋大学理工学部建築学科同窓会<泉会>提携学費及び講座一覧

Web講座

Web学習の特徴
- 遠隔地や仕事等の理由でなかなか通学できない方でも学習可能。
- 自分のライフスタイルに合わせて学習を進められる。

No	講座名	一般学費(税込)	泉会会員提供学費(税込)
1	1級建築士 学科理論Web講座	330,000円	165,000円
2	2級建築士 学科理論Web講座	330,000円	156,200円
3	宅地建物取引士 重点Web講座	110,000円	88,000円

通学講座 ※最寄の日建学院で受講できます。

通学講座(集合型学習)の特徴
- 多人数制なので競争意識が芽生え学習意欲が高まる。
- 決められたスケジュールの中で効率的に学習が進められる。

No	講座名	一般学費(税込)	泉会会員提供学費(税込)
4	1級建築士 学科本科(通学)講座	770,000円	695,200円
5	1級建築施工管理技士 学科(通学)講座	308,000円	256,300円

【期間】2023年3月31日まで ※学費改定の場合、改定額に準じます。

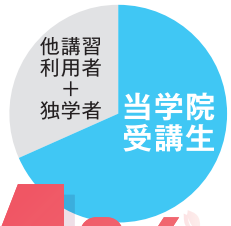
*画像は全てイメージです。

あなたの「夢」応援します。
日建学院
全国直営114校 最寄校の利用が可能です。
まずはお気軽に川越校までご連絡下さい。

【お申し込み・お問い合わせ】
日建学院 川越校 事務局
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町15-13東上パールビル6F
川越駅西口駅前　TEL：049-243-3611

資格学校は近年の実績で選ぼう!

令和元年度～令和3年度
1級建築士 設計製図試験
東洋大学卒業生
合格者占有率
68.4%
東洋大学卒業生合格者合計98名中／
当学院受講生合計67名〈令和3年12月30日現在〉



総合資格学院は埼玉県合格者占有率No.1

令和3年度 1級建築士学科・設計製図試験
埼玉県ストレート合格者占有率 60.9%
埼玉県ストレート合格者64名中／当学院当年度受講生39名
〈令和3年12月24日現在〉

令和3年度 1級建築士設計製図試験
埼玉県合格者占有率 54.5%
埼玉県合格者202名中／当学院当年度受講生110名
〈令和3年12月24日現在〉

V11 11年連続で No.1達成

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に沿って掲載しております。 ※全国/都道府県合格者数・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和3年度1級建築士学科試験に合格し、令和3年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

▼受講相談・体験入学受付中!! 詳細は下記までお気軽に!▼

総合資格学院 川越校 TEL:049-291-5211
川越市脇田本町10-16 BOビル 1F

www.shikaku.co.jp 総合資格 検索 Twitter ⇒「@shikaku_sogo」 LINE ⇒「総合資格学院」 Facebook ⇒「総合資格 fb」で検索!

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 1級・2級 管工事施工管理技士 | 1級 造園施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリアコーディネーター | 賃貸不動産経営管理士

泉会

泉会情報はこちらをご覧ください

■泉会ホームページ
https://www.toyo-izumikai.com

東洋大学理工学部建築学科同窓会会報／2022年／37号